

第2回 産業用電源コンソーシアム

日本の産業用電源メーカーの在り方と今後
変わりゆく少量多品種のモノづくり

2018年 8/31 金

場所

横浜市神奈川区金港町3-1 コンカード横浜6階
TKPガーデンシティ横浜 会場名: ホール6 G

時間

13:00～17:00

※17時半以降は懇親会を予定しています。

参加費
(懇親会費込)

1名: 10,000円(税込)

※ 懇親会不参加の場合、参加費は減額となります。お申込時にご連絡下さい。

お申込み
方法下記メールアドレスまで
お名前、会社名、人数をご連絡下さい。
office@powerELE-academy.co.jp

開催概要

日本の電源業界でも大量生産から少量多品種へモノづくりへと時代は変革し、現場の新製品開発サイクルも短縮を余儀なくされています。しかし、近年、中国を初めアジア各国の躍進は目覚ましく、これらに対応する“ヒト”や“もの”の“人財”は充分とは言えない状況です。「海外勢の追従を許さないスピード」×「技術」を差別化のキーワードに、電源事業のカタチをさらに模索していく必要があります。さらに、近年におけるAIの技術革新、IT化の波があり、電源企業の開発や生産、購買、運営に対して既に広がりを見せてきています。“経営資源不足の中で少量多品種の生産の維持はどうすべきか?”、“人財不足の中での電源開発はどうすべきか?”、“AIの登場で電源開発はどのように変化するのだろうか?”これらの課題を無視することはできない状況になってきています。

そこで当該コンソーシアムでは“人財不足”の中で少量多品種製品をタイムリーに製品化する方策、それとは別に、電源開発におけるAI活用法の例も取り上げ、電源業界の新しい開発手法について情報発信の場を提供いたします。

コンソーシアム内容

13:05～13:50

第1部

少量多品種化が進む製造業のビジネスモデル
WEB活用により設計～ものづくりの最適化

講師 Quadcept株式会社 代表取締役 加藤 昌宏

13:55～14:40

第2部

少量多品種製品のWEB商社の役割と今後電子部品商社の方向性

講師 Mouser Electronics Vice President, Mouser Japan GK 代表 勝田 治

15:00～15:45

第3部

人工知能の基礎と応用事例

講師 福井大学 大学院工学研究科 情報・メディア工学専攻 講師 長谷川 達人

15:50～16:35

第4部

「3つの誤解」が品質を壊す ～効率化ツールは薬か? 毒か?～

講師 オムロン オートモーティブエレクトロニクス株式会社 大元 靖理

16:40～17:00

総括

ストラテック株式会社 代表取締役 宇崎 勝